

会議録（スローライフてらまち運営推進会議）

令和元年度 第4回

作成日 令和元年12月6日

期 日	令和元年11月25日（金）	時 間	午後1時30分から午後4時00分
場 所	グループホームてらまち 翡翠ユニットフロア		
出席者 (11名)	家族	1名	
	地域包括支援センター	1名	
	糸魚川市職員	1名	
	寺町区	1名	
	MMC総合コンサルティング株式会社	1名	
	民生委員	1名	
	施設スタッフ	5名	
	利用者		
欠席者	3名		

会議要旨

議題	1. 開会挨拶
	2. 議題 第1部 ① 活動内容報告 ② ヒヤリ・ハット、事故報告 ③ 意見交換 第2部 ファミリアてらまち 外部評価 講評
	3. 閉会挨拶
1. 開会挨拶 <施設長> 開会挨拶 出席者自己紹介	

2. 議題

第1部

① 活動内容報告

別紙参照

※活動内容については配布した写真付き資料参照

② ヒヤリ・ハット報告書、事故報告書 報告

別紙資料参照

③ 意見交換

<スタッフ>ヒヤリ・ハットの件数について、1か月13件だったり、0件だったりバラつきがみられており、ヒヤリ・ハットを沢山あげて職員が危険を共有する事で事故を防げるのではないかと考えます。職員にはヒヤリを感じた時にはしっかりと報告を上げるように周知していきます。また、服薬、転倒の重大事故に関しては、少なかったようです。

現在、グループホームの薬の管理は、居宅療養管理とし、薬局が管理しており、ファミリアでは一包化を進めています。何れも、服薬事故を未然に防ぐことに繋がっています。

<出席者>糸空会とはどんな繋がりが、これから定着しそうですか。

<スタッフ>職員の知り合いの団体で、これからも継続して来てもらえると思います。主に子供の空手の演舞をご披露いただいています。

<出席者>餃子屋さんからの寄付というのは、グループホームさん宛てにだけですか。

<スタッフ>リボーンの社員と繋がりがあり、リボーン全体で4000個の寄付を頂きました。

<出席者>資料の確認事項シートの件数表記がグループホームとファミリアで異なっているのはおかしいので、共通表記にしてください。ページ数を入れると分かり易いと思います。ファミリアのご利用者の表現方法がバラバラなので、統一表現にしてほしい。分かり易い運営推進会議を目指してほしいと思います。

<出席者>これから冬になりますが、降雪時のお迎えや送りでは除雪などどうしますか。

<スタッフ> ご家族同居の場合はご家族にお願いしています。

独居の方は職員が、一人が歩ける幅を踏んで道をつけています。また、ご近所様で協力してくださる方もいらっしゃいます。

<出席者> 市の高齢者住宅の雪下ろしの事業として、「屋根雪除雪等費用助成事業」があります。

<出席者> グループホームの服薬事故ですが、どんな薬で、異常はなかったでしょうか。

<スタッフ> 気持ちを落ち着ける薬で、1日飲まなかったが問題はなかったです。対策として、介助の方は、口腔内まで飲みこむまで見守りし、袋から出し手のひらまでの方は、一度お皿に出して、そこから服薬していただく。お皿は、お薬専用のお皿を購入しました。

<出席者> 運営推進会議の報告が送られてきますが、ヒヤリ・ハット、事故報告の所が別紙参照となっており、別紙がついていないので、今日の報告を聞いて、ヒヤリ・ハット、事故の内容がわかると家でも気を付けることができるのではないかと思います。

<スタッフ> ヒヤリ・ハット、事故報告は同封していませんでした。別紙を同封するようにします。(外部に出す書類は十分注意して発送のこと)

<出席者> 感染症予防のための換気は、どの時間帯で行いますか。

<スタッフ> ご利用者が個人の居室に戻られている間に行います。

<スタッフ> 今回台風19号では大きな被害があり、新井、妙高地区では避難勧告があり、弊社ご利用の方には2時間かけて本社まで移動して頂き、一晩本社にて過ごしていただきました。糸魚川寺町の区長様には、町内会館を開放していただきましたが、当日の暴風雨がひどかったため、外出リスクを考え施設に留まりました。避難先に関しては、これから市と連携して避難できるようにしていきたい。

<スタッフ> 今回の台風で、ファミリアのご利用者のご近所の方が、「避難しようと思っ

た時に、ご本人がどこにいるのか判らないと、声をかけてもいるのか、いないのか判らずに困った。」と話されていました。「自分達だけ避難して、ご近所さんを置いてきた。」と思われてしまう。だが、個人情報でもあるので、安易にスケジュールを教えるわけにはいかない所もあり困惑している。

<出席者>確かに、独居の方への連絡などは、どうしたら良いか考える。と言うのは、民生委員として独居の方を訪問の際「どうして一人暮らしだと知っているんだ。」と怒る方もいらっしゃる。個人情報ということで、情報交換が難しくなるように思います。

第2部

<出席者>9月11日に行いました、ファミリアてらまちの外部評価の講評をお知らせいたします。課題としては、3つ。

- ① センター方式・ケアプランの日付の相違、確認印の責任と修正まで。
- ② ケアプランの作成者の氏名欄に数字が入っていた。
原因の究明と確認印の責任と、修正まで。
- ③ ケアプランが変更になっていたにも拘らず、1か月間、旧短期目標でモニタリングを行っていた。短期目標の変更の周知をこれからどの様にしていくのか。

<出席者>事業所自己評価を読んで、事業所評価は出来かねる。
職員一人一人の職種も違う中で、個人の想いが強く出ているもののため評価は難しい。外部評価の説明会をしてもらったほうがよいです。

<スタッフ>設問Aに関してだけ事業所自己評価を読んで答えてくださればよく、設問B以降は、見たまま、思ったままを答えてくださればよいです。

<スタッフ>外部評価の講評時に行なわれる運営推進会議の流れが分かりやすく伝わる説明会をする必要がある。と感じております。

<スタッフ>本日は貴重なお時間いただき、また貴重なご意見有難うございました。
次回は12月20日(金)に開催予定です。